

2010 年度（平成 22 年度）苫小牧市温室効果ガス排出量

平成 26 年 1 月
苫小牧市環境衛生部

1 温室効果ガス排出量について

市内温室効果ガス排出量（CO₂換算）は 2,329 千トンとなり、基準年比 6.3%の減少となりました。

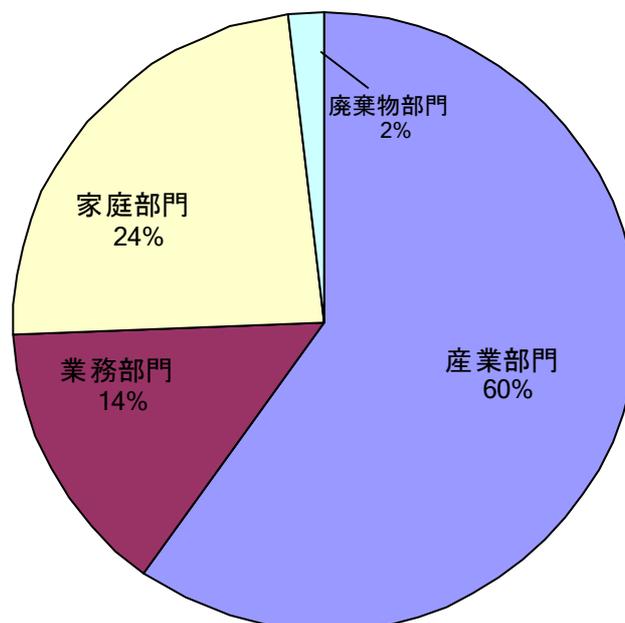
部門別では、産業部門で基準年比 21.2%の減、業務部門で 20.6%の増、家庭部門で 36.1%の増、廃棄物部門で 48.0%の増となりました。

前年度と比較して増加の要因は、リーマンショック後の景気後退からの回復による活動量の増加に伴い、製造業等からの排出量の増加、業務系建物床面積の増加、核家族化による世帯数の増加、プラスチック類の焼却量の増加などが考えられます。

（単位：千トン）

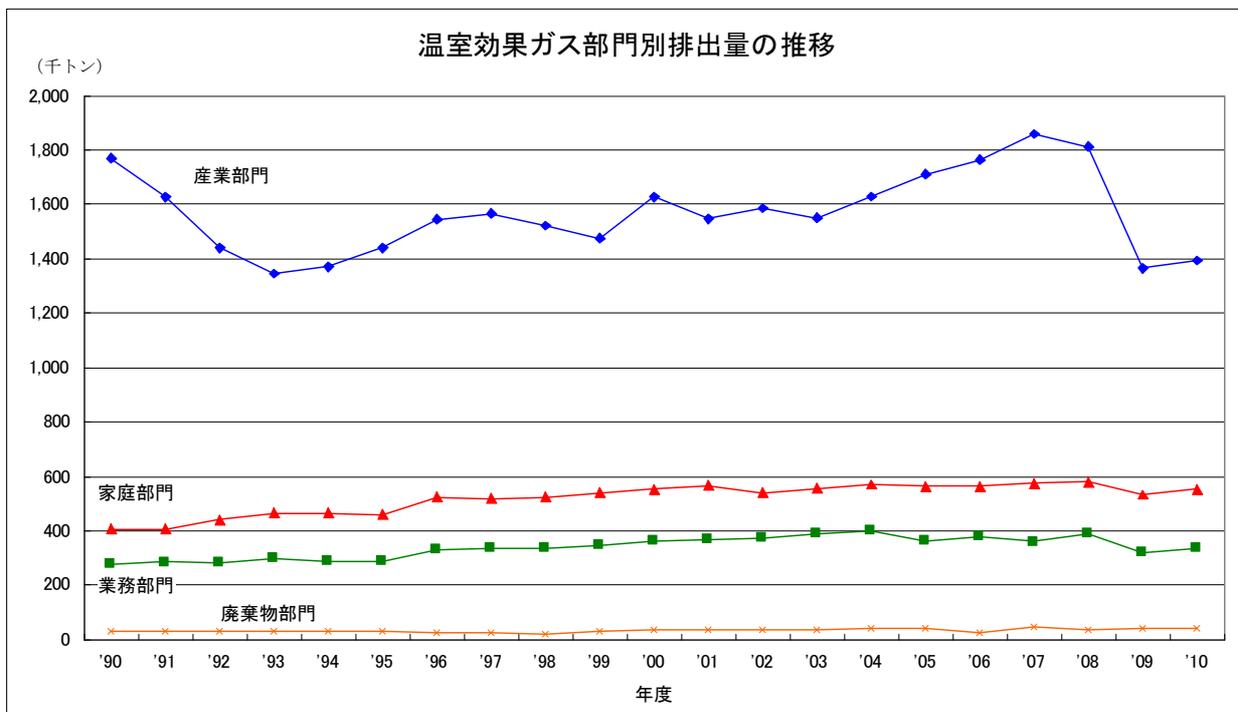
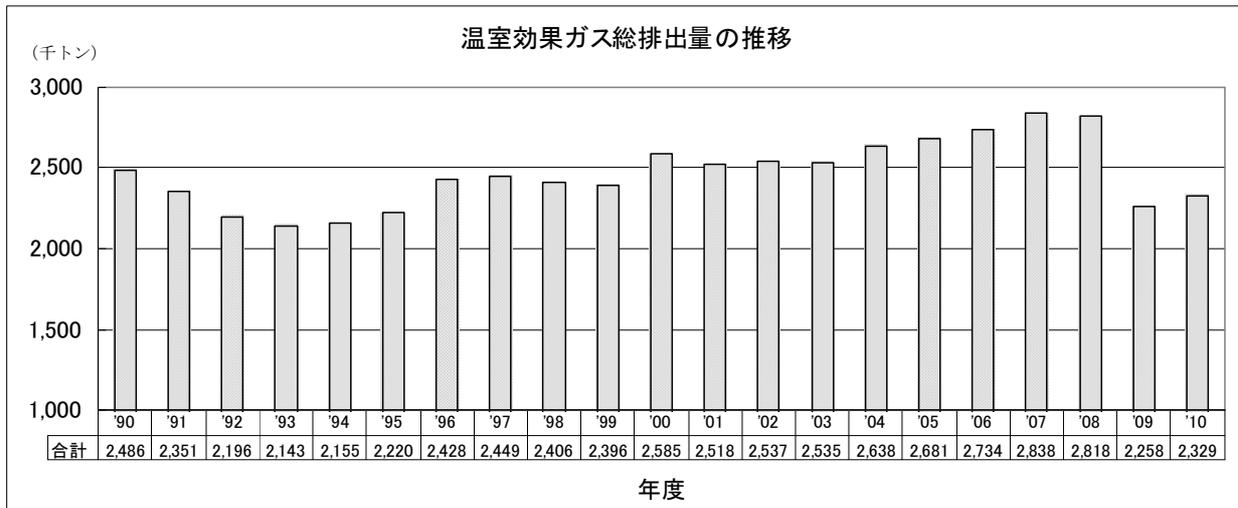
	1990 年度 (基準値)	2008 年度	2009 年度	2010 年度	2010 年度	
					基準年比	前年比
合 計	2,486	2,818	2,258	2,329	-6.3%	+3.1%
産 業 部 門	1,770	1,812	1,366	1,395	-21.2%	+2.1%
業 務 部 門	280	389	318	337	+20.6%	+6.0%
家 庭 部 門	407	579	533	554	+36.1%	+4.0%
廃 棄 物 部 門	29	38	41	43	+48.0%	+5.6%

部門別の割合（2010 年度）



2 経年変化について

1990年度から2010年度までの経年変化は次のグラフのとおりです。



3 部門別目標の進捗状況

	目標(2017年度)	2010年度
産業部門	総排出量 -15.0%	-21.2%
業務部門	床面積1㎡当たり排出量 -12.0%	-25.0%
家庭部門	1世帯当たり排出量 -7.0%	-0.1%
廃棄物部門	1世帯当たり排出量 -15.0%	+8.6%